

図3-23 立合宿遺構平面図

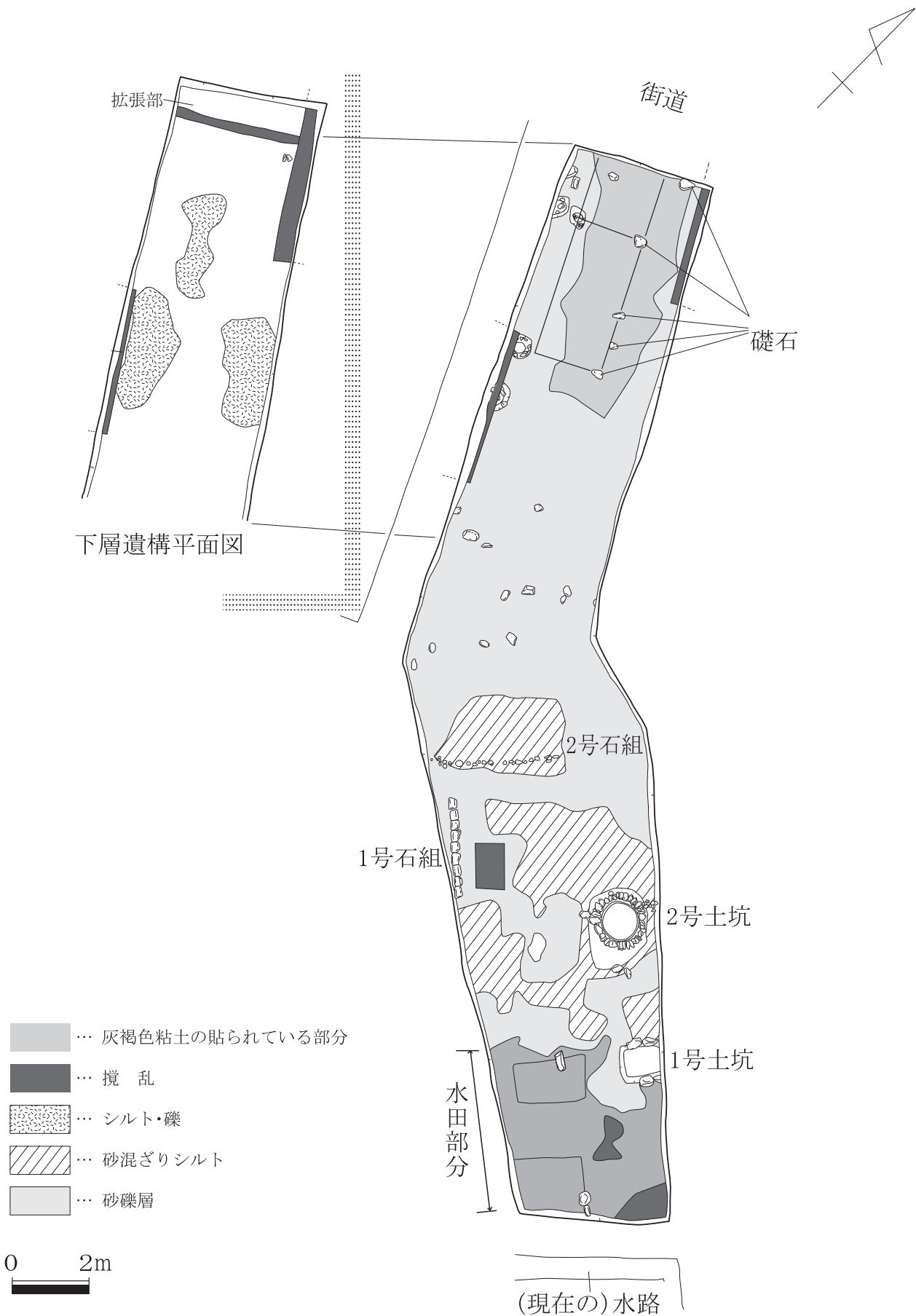


図3-24 出土遺物実測図1

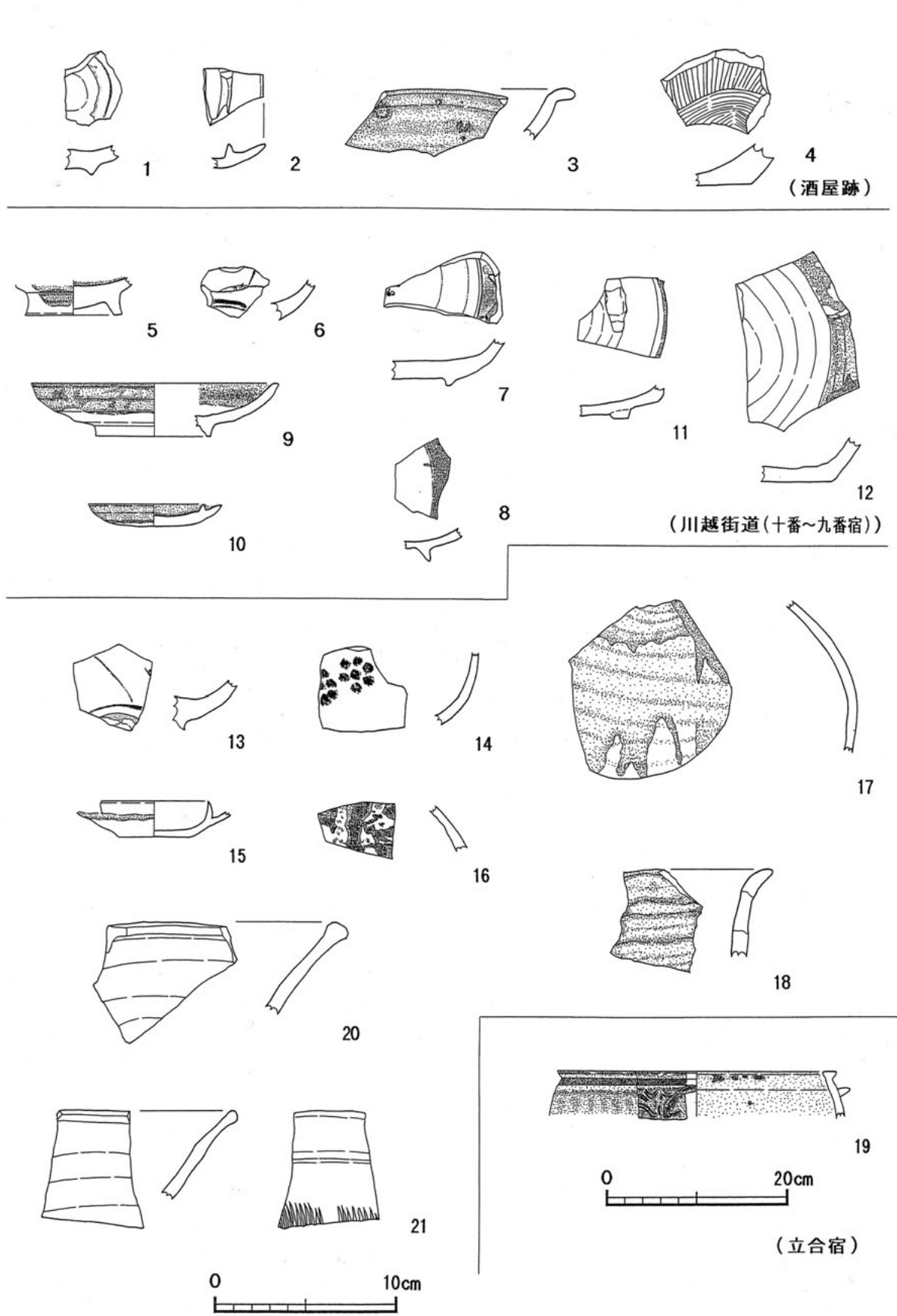
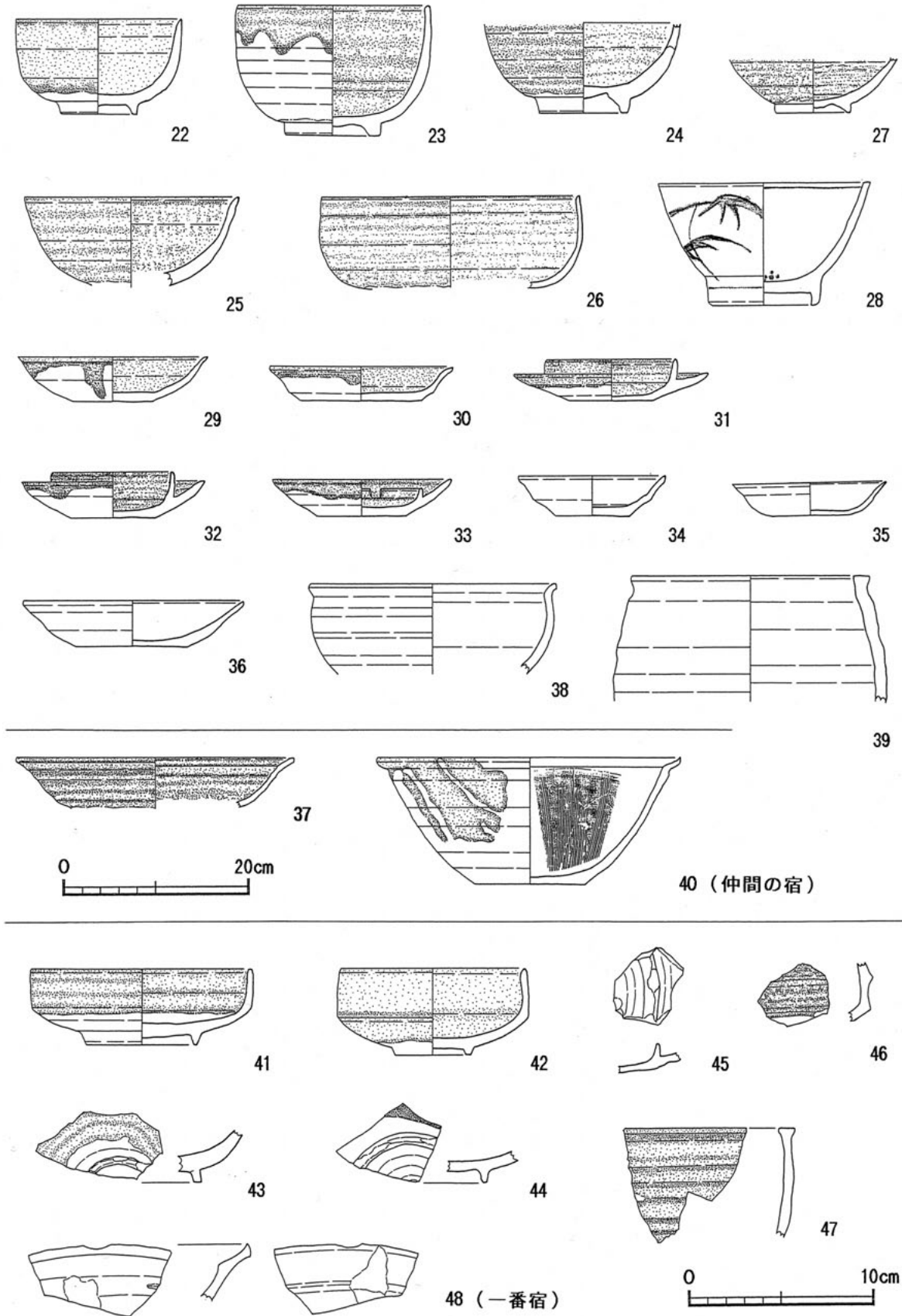


図3-25 出土遺物実測図2



## 第9節 整備と利活用の状況

### 1 整備と利活用の状況

昭和45年(1970)以降、「川会所」の移築復元に始まり、指定地の番宿等の復元が行われている。

以下、指定地の現況を個々に説明しておきたい。「川会所」の建物については、その機能が廃止となった明治3年(1870)以降現地で建物が寺子屋として使用され、その後明治10年に市内柳町へ、明治19年には六合村(現市内六合)へと移設され、昭和7年に市内稲荷町の元の場所近くに落ち着いた。このように市内を転々と移設した経緯があり、その保存が急務とされていた。そのため昭和41年の指定の際には、その移転先の市内稲荷町地内の土地と旧川会所跡の土地が指定を受けている。

その後、昭和43年には国の補助事業により川会所建物の解体工事を行い、昭和45年に「川会所跡」の西側の、島田大堤の東側に隣接する市有地に移築、復元工事を実施した。復元された川会所は、解体時の調査から安政3年(1856)に建て替えられたことが判明した。そのため復元は安政3年当時に再現することを目的に行われた。現在では川会所建物の内部で大高欄連台や半高欄連台、平連台(昭和32年に「大井川川越に関する用具」として島田市指定文化財に指定されている)や川越しに関わる道具等を保管し、一般に公開している。また平成17年(2005)には県内の企業から寄附金を受け、その資金を基に川庄屋と年行事の人形2体を製作して川会所に展示し、その川越業務の様子を再現している。

昭和46年には仲間の宿を復元し、平成9年に同地を公有化して一般開放を始めた。近年では川越街道を愛する会の有志により、川越人足が履いたとされる「権蔵わらじ」を復元し、地元の小学生等にこのわらじ作りの体験学習を行っている。

昭和47年には「二番宿跡」を復元し、その後復元建物を一般住宅として個人が居住している。

昭和48年には「三番宿跡」を復元し、平成2年に公有化して、現在では島田市教育員会で管理し一般公開している。「三番宿跡」については近年の調査により、明治までは西側に隣接する荷縄屋部分の東側半間までが三番宿の軒が続いていたことが判明した。この接続部分については、現在は「荷縄屋跡」の所有となっている。

昭和49年には「札幌跡」を復元し、昭和59年に公有化して一般公開を始めた。平成4年頃から、民俗資料として収集された機織機を使い、「札幌跡」の部屋の一部を利用してさき織の体験学習を行っていて、好評を博している。この札幌跡から東側に続く仲間の宿・荷縄屋・三番宿の家並は、当時の街道の面影をよく残している。

昭和51年には街道の西端にあるせぎ跡の復元を行った。せぎ跡の南側部分については、玉石を4～5段積んで石塁としている。このせぎ跡は、『東海道分間延絵図』には「善太夫嶋堤」として記載され、北側で「島田大堤」とつながって構築されている様子がわかる。

昭和53年には、「十番宿跡」を公有化し、昭和56年から57年にかけて復元した。現在では平連台等の川越しの道具の一部を展示して一般公開している。希望があれば期間を限定して、絵画や陶磁器のギャラリーとしても開放している。

昭和54年から55年にかけては、「六番宿跡」を復元し、これを一般住宅として利用しながら保存管理している。

昭和62年(1987)及び平成12年(2000)には、「酒屋跡」・「七番宿跡」をそれぞれ公有化し、

現在では更地で管理している。

平成21年(2009)には、「札場跡」に隣接する並木敷きの土地を公有化した。

表3-1 川越遺跡既指定地の復元施設一覧(整備報告書等を含む)

復元年	復元箇所等	報告書・説明
昭和45年(1970)	川会所 移築復元	『史跡島田宿大井川川越遺跡 川会所修理工事報告書』 島田市教委
昭和46年(1971)	仲間の宿 復元	
昭和47年(1972)	二番宿 復元	
昭和48年(1973)	三番宿 復元	
昭和49年(1974)	札場 復元	
昭和51年(1976)	せぎ跡 復元	
昭和55年(1980)	六番宿 復元	『国指定史跡島田宿大井川川越遺跡保全整備調査計画報告書』(財)環境文化研究所
昭和57年(1982)	十番宿 復元	『史跡島田宿大井川川越遺跡 (十番宿) 修理工事報告書』 島田市教委
平成7年(1995)		『島田宿大井川川越遺跡周辺整備計画策定調査報告書』 島田市
平成8年(1996)		『島田宿「川越屋敷」及び周辺整備計画報告書』 島田市
平成13年(2001)		『川越街道修景基準策定業務委託報告書』 島田市

遺跡の修景や周辺整備については、平成4年(1992)には川越遺跡に隣接する河原町地内に大井川の歴史や川越制度及び島田宿に関する資料を収集、展示、研究する目的で島田市博物館が建設された。さらに翌年には博物館の西側大井川河川敷に、大井川川越広場が建設され、東海道五十三次のミニチュアとして宿場絵パネルと宿標や静岡県内22宿の歌碑が建立されている。現在は、大井川マラソンコース「リパティ」に分散されて再設置してある。

平成6年から7年には「街道(川越街道)」の整備を行い、遺跡の有無の確認調査を行うと同時に、歴史的景観の質を高めるために路面や水路の整備、燈籠風の照明施設の設置などの修景を進めた。

さらに、平成12年には川越遺跡の東の一角に民俗資料館と美術館を兼ねた「島田市博物館分館」が開館し、島田市博物館、史跡島田宿大井川川越遺跡、博物館分館と連携する街道の賑わい創出事業を展開している。博物館の自主事業としては、5月のこどもの日の集い、8月の県民の日協賛事業、体験学習を中心に各種のイベントを実施している。また、観光ボランティアによる川越遺跡の説明ガイドや、遺跡周辺では地元自治会主催の桜祭りや夏祭りのイベント、川越街道を愛する会が主催する七夕祭り、仲間の宿や三番宿・十番宿の復元家屋を使った雛人形・五月人形の展示等にも行政(博物館)が積極的に協力して周辺地域の活性化を推進している。

また、川越遺跡普及に係わるイベントとしては、次の事業があげられる。

古くから行われている事業としては、大井川の連台越しの実演がある。この実演については昭和5年(1930)の昭和天皇行幸の折り、大井川での連台越しを再現して以来、戦後になると「大井川輦台越保存会」(会員は河原町・向島町・稲荷町の三町で構成)が主体となり、毎年7月中旬に島田市内本通りで行われた島田夏まつりの一環として七夕まつりと合わせて連台越しが行われている。昭和30年代から40年代に入ると大井川の連台越しは、本通りの会場から場所を大井川に変えて浅瀬に仮の流路を造り実演され、昭和50年代には「大井川連台越」として独立し開催されるようになった。以後2年毎、平成17年(2005)まで実施されたが、島田市の財政事情等で事業の予算確保が困難となり、島田市が行う夏の事業としては取りやめている。この事業については、島田市の観光事業推進とともに江戸時代に行なわれた大井川の川越しを継承し、保存会の育成という大きな役割をもつものであった。

最近の事業としては、平成26年から28年までの期間で藤枝市と共同して実施している「東海道街道文化創造事業」がある。この事業については東海道の歴史文化を共有する島田市と藤枝市が連携して、茶文化や固有の歴史文化資源を活かした地域の振興を図ることを目的として、平成26年には島田市博物館での企画展、文化講座、川越遺跡内でのイベント(8・11月)、人形浄瑠璃「朝顔日記」の特別公演などの事業を実施している。

また、間接的ではあるが、近年の健康ブームにのり、平成21年から実施している「しまだ大井川マラソン in リバティ」では川越遺跡内の街道がそのコースに使用され、観光会社の企画で東海道53次を歩くツアーでも川越遺跡を訪れる機会が増えるなど全国的にもその認知度が高まっている。



写3-21 しまだ大井川マラソン in リバティ (平成26年撮影)

## 2 博物館

川越遺跡の整備を推し進めるなか、遺跡に隣接して平成4年5月3日に「島田市博物館」が開館している。博物館は、その基本構想・性格の中で、まず「大井川の歴史、川越制度及び島田宿に関する資料を中心とした人文系博物館」であるとし、次に「国指定史跡島田宿大井川川越遺跡が残されている河原町の町並みから朝顔の松公園、そして川越しのイベント広場となる川越広場(現在は撤去されている)までを歴史・文化ゾーンと位置付け、郷土の歴史

や文化とふれあいそして未来へとつなぐ生涯学習、憩いの場とします。」と説明し、川越遺跡に近接して建設した島田市博物館の役割を明確に打ち出している。

さらに常設展示の基本理念として、「(1)大井川の歴史、川越制度及び島田宿に関する資料を中心とした展示とし、島田ならではの郷土色豊かなものとする。(2)館内展示とともに、復元された川越遺跡の町並みを一体として活用し、より一層の効果を高める。・・・」とし、展示の時代設定として江戸時代後期に中心を置き、「旅と旅人」「人はなぜ旅をしたのだろうか」をメインテーマに大井川・島田宿・川越しについて展示している。その手法として、ジオラマビジョンという映像展示機器を駆使し、川越制度についてもわかりやすい説明を心がけている。また、2階の特別展示室で行われる企画展や常設展でも大井川と川越制度、島田宿と川留文化などのテーマで数々の展示会を実施し、史跡川越遺跡の普及はもとより、情報発信館としての役割を担っている。

さらに平成12年4月28日には、川越遺跡の一角に「島田市博物館分館」が開館している。この分館は明治中期建築の日本家屋、海野光弘版画記念館、民俗資料室から構成され、特に日本家屋の座敷と版画記念館においては、寄贈を受けた静岡市在住の版画家海野光弘(故人)作品が展示されている。その他の企画展としては、県内作家の版画を中心とした作品、及び織物や染色作品などを展示している。

また、民俗資料室では、島田周辺の農機具や昭和の生活用具を中心に、大鋸や瓦生産の道具など島田の産業にちなんだ資料も保管、公開を行ない、その活用については地元の小学校と連携しての出前講座等に対応している。このほか分館中庭で春や秋に分館コンサート等を開催して島田市博物館、史跡島田宿大井川川越遺跡、博物館分館を連携させた街道の賑わい創出事業を展開している。

## 島田市観光マップ / ハイキングコース版



**1 智満寺**  
千手観音を本尊とする天台宗の古刹。本堂、本尊木造千手観音立像、本尊千手観音厨子、木造阿彌陀如来及び、諸尊像刻出史が国の重要文化財。また、裏山には国の天然記念物に指定されている十本杉がある。  
その他、中門・薬師堂など多数県指定文化財。1月7日には1年間の無病息災のご利益をもたらす「鬼払い」が行われる。

**2 田代の郷温泉 伊太和里の湯 (有料)**  
営業時間: 9:00~21:00 (入湯料20:30まで)  
休館日: 月曜・祝日の翌日(12/29~1/2は除く)  
ご利用料金 (当日券): 大人 500円 小学生 300円  
TEL (0547) 33-1148

**3 天徳寺山門**  
菅原宗の古刹。県指定文化財の山門は開口・奥行とも3.5mの木造和様切妻破風造りの四脚門。前の参道には高さ4m以上になっているサザナギが植えられている。見ごろは10月下旬から11月上旬。

**4 慶寿寺のしだれ桜**  
駿河の守護となった今川範氏が駿河に進出する前に住居を築いたと言われている本堂の裏に、目通り周囲3.5m、高さ14m、枝張18mの県指定天然記念物のしだれ桜。見ごろは3月下旬から4月上旬。また、境内の白木蓮も同時期にみることができる。

**5 白岩寺**  
開元祥麟の法統(仏法の伝統)を継ぐ最頂禪師が開山。当時の島田代官長谷川藤兵衛及び小豆孫十郎真之の助力によって、寺が設立される。  
島田宿に滞在した丹山応挙が、夜中に病身の宿屋の娘の姿を見て描いたもので、あまりにもリアルな掛軸なため代々持ち主に不幸が起り、この寺に納められた。

**6 鷗田寺**  
真言宗の古刹。島田市最古の寺。木造薬師如来坐像、鏡口(仏堂: 拝殿も前面の軒につるす大きな鈴)が県の指定文化財。9月の第3日曜日には「鯉の原」前で島田鹿の供養感謝祭が行われる。

**7 静居寺の惣門**  
県指定文化財に指定されている、妻側に突破風を設けた向唐門様式の惣門。17世紀後半に建造されたと言われている。

**8 お茶の郷**  
お茶の郷博物館 (9:00~17:00 最終入場 16:30)  
世界のお茶の歴史や文化を学べます。  
おいしい金谷茶と世界の珍しいお茶が味わえます。(入館料: 大人 600円)  
茶室 (抹茶和菓子 500円)  
庭園 (9:00~17:00 最終入場 16:30)  
レストラン (定休日 第2・4火曜日/年末年始)  
売店 (4~10月/9:30~17:30) (11~3月/9:30~17:00)

**9 富士山静岡空港**  
開館時間 ターミナルビル AM7:30~PM8:30  
所在地 静岡県牧之原市坂口 3336 番地の4  
総合観光案内所 0548-29-2220

コースと距離	
① 千葉山ハイキングコース 1 赤松口→柏原→どうたん原→展望台→智満寺	5.5km 1時間30分
② 伊太丁仙参道 (沿道に31対の丁仙がある) 大鳥公民館→伊太小学館→八幡社→千葉山ハイキングコース→智満寺	6km 2時間
③ 千葉山ハイキングコース 2 大津川→智満寺	5km 2時間
④ 尾川丁仙参道 (沿道に33対の丁仙がある) 尾川丁仙参道入口→電石→千葉山智満寺	4.5km 2時間
⑤ 天徳寺ハイキングコース 橋ヶ谷橋→天徳寺→智満寺	5km 1時間30分
⑥ 大草林道 東光寺新橋起点→終点(尾川丁仙参道合流点)	6km 2時間
⑦ 岸山ハイキングコース 六谷駅→岸山入口→岸山山頂→東光寺分岐→ハラの丘公園	10km 3時間
⑧ 蓬萊橋ハイキングコース 蓬萊橋→中條→慶岩古墳→島田大橋→蓬萊橋	6km 2時間
⑨ 大井川マラソンコースリハビリ 大井川河口付近→上流部23km地点 (島田市神産地区)	17.9km (計画22.2km)
⑩ 牧之原ハイキングコース 金谷駅→お茶の郷→中條→蓬萊橋	12km 3時間
⑪ 静岡空港ハイキングコース 金谷駅→お茶の郷→2階入口(473号線)→空屋→中條→蓬萊橋→アビタ→鳥居	17.9km 5時間

連絡先… 島田駅前観光案内所 TEL/FAX 0547-37-1241 島田市観光協会 TEL 0547-46-2844

図3-26 島田市観光マップ